

港内工事許可申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

高松港長 殿

申請者 住所 香川県高松市〇〇町〇丁目〇番〇号
氏名 〇〇建設株式会社高松支店
取締役支店長 〇〇 〇〇

1 種類

起重機船等による岸壁改修工事

2 目的

老朽した高松港〇〇岸壁を修復するため、コンクリートケーソン等の現施設を撤去し、地盤改良、基礎捨石の投入後、ケーソン据付及び上部工等の付帯工事を実施するもの。（発注者：香川県高松土木事務所）

3 期間及び時間

令和〇年1月1日から令和〇年1月31日までの間

（予備日 令和〇年1月28日から令和〇年1月31日）

日曜日を除く毎日〇時～〇時、ただし、陸上より施工する上部工は〇時～〇時の間に実施。

4 区域又は場所

高松港〇〇岸壁前海域（別添作業区域図のとおり）

次の各点を順次に結んだ線及び陸岸により囲まれた海域

イ 高松港玉藻防波堤灯台から〇〇〇度、〇〇〇メートルの点

ロ イ点から〇〇〇度、〇〇〇メートルの点

ハ ロ点から〇〇〇度、〇〇〇メートルの点

ニ ハ点から〇〇〇度、〇〇〇メートルの点

又は、

イ 北緯〇〇度〇〇分〇〇秒、東経〇〇度〇〇分〇〇秒

ロ 北緯〇〇度〇〇分〇〇秒、東経〇〇度〇〇分〇〇秒

ハ 北緯〇〇度〇〇分〇〇秒、東経〇〇度〇〇分〇〇秒

ニ 北緯〇〇度〇〇分〇〇秒、東経〇〇度〇〇分〇〇秒

5 方法

(1) 工事概要

老朽化した〇〇岸壁（前面水深DL-〇〇m、延長〇〇mDL+〇m）を新設するため、ケーソン等を撤去し、新たに基礎部の地盤を改良して基礎を構築した後、ケーソンを設置して上部を築造するもので、地盤改良船、起重機船、ガット船等を使用して下部工及び上部工を施工するものです。

(2) 深浅測量工

測量船〇隻を陸上の作業員の誘導により東方から西方に向け、間隔〇〇m、速力約〇〇ノットで航走させ、音響測深機により現状水深を測量します。

なお、岸壁から〇〇m以内の側傍は、動力式小型船舶を使用してレッドにより測量します。

(3) 撤去工

陸上からクレーン車にて係船柱、防舷材、上部ブロックを撤去し、背後に仮置きした後、バックホーで土砂、コンクリート殻（小割り）を撤去し、背後に仮置きします。

なお、アスファルトは分別して陸上処理場へ運搬のうえ、適正処理します。

次に岸壁背後に仮置きした土砂等を作業状況図のとおり配置したクレーン台船により底開式土運船（押船式、全長〇〇m）に積込み、〇〇〇〇埋立地まで運搬（〇隻/隻、延べ〇〇隻）し、埋立用材として投入します。

（作業状況図、土砂運搬経路図参照）

(4) ケーソン撤去工

起重機船を撤去状況図のとおり配置し、ケーソン〇〇函を吊り上げ撤去し、〇〇〇〇のケーソン仮置場へ吊り運搬し仮置きします。吊上げ時は潜水士〇名により玉掛け作業を行います。

なお、運搬全長は〇〇mとし、警戒船〇隻を配備します。

（ケーソン撤去状況図、ケーソン運搬・仮置作業図参照）

(5) 捨石撤去工

ガット船を作業図のとおり配置し、ケーソン下部の捨石（約〇〇m³）を撤去し、〇〇〇〇埋立地に運搬（ガット船〇隻/隻、延べ〇隻）し、基礎石に流用するために投入します。

(6) 地盤改良工

サンドコンパクション（SCP）船〇隻を作業状況図のとおり配置し、北側から南側へ海底下〇〇mまで砂杭〇〇本打設します。

砂は〇〇港からガット船により搬入（〇隻/日、延べ〇隻）し、ガットバージに瀨取り後、SCP船に供給します。

なお、地盤改良終了後、地盤改良状況を確認するため、セップ台船を使用して〇ヶ所でボーリング調査を実施し、全ての作業終了後に測量船〇隻で音響測深機によ

る深浅測量を行います。

(杭打ち作業状況図、地質調査作業図、測量状況図参照)

(7) 盛上土撤去工

グラブ式浚渫船〇隻を盛上土撤去作業図のとおり配置し、DL-〇〇mまで盛上土を撤去します。

撤去土は底開式土運船（曳航式、全長〇〇m）により〇〇〇〇〇埋立地へ運搬（土運船〇隻/日、延べ〇隻）し、埋立用材として投入します。

なお、別添のとおり土砂溶出検査を実施し、有害物質を含有していないことを確認しています。

(盛上土撤去作業図、運搬経路図参照)

(8) 捨石投入工

〇〇港からガット船により捨石を運搬（〇隻/日、延べ〇隻）して投入し、潜水土作業船を使用（〇隻/日、延べ〇隻）して潜水土により-〇〇mに均して基礎を築造します。

(9) ケーソン据付工

〇〇〇〇〇に仮置中のケーソン〇〇函をクレーン船により吊り運搬し、据付図の要領のとおり所定の位置に据付けます。

運搬時の全長は〇〇〇mとして警戒船〇隻を配備して延べ〇〇日間行います。

据付時は、潜水土〇名により位置確認を行いながら実施し、据付後は、〇〇港からガット船で運搬（〇隻/日、延べ〇隻）した山土を中詰土として投入します。

(ケーソン運搬及び据付状況図、中詰作業状況図参照)

(10) 上部工

陸上で製作した型枠をクレーン船によりケーソン上部に設置し、作業員により鉄筋工を施した後、コンクリート船により上部コンクリートを打設します。

〇日間養生した後、陸上側から足場を掛けて作業員により型枠を撤去し、ガット船により背後に山土（約〇〇m³）を投入（〇隻/日、延べ〇隻）します。

(上部工作業状況図、深浅測量状況図参照)

(11) その他

陸上側からユニック車を使用し防舷材及び車止めを取付けた後、測量船〇隻により作業海域の音響測深を行い、水深-〇〇mが確保されていることを確認するための管理測量を行います。

6 危険予防の措置

(1) 標識の設置

① 潜水作業中は作業船に国際信号書に定める「A旗」又は「A旗」を示す信号板（及び「潜水作業中」と標示した横断幕）を掲げます。

(注：岸壁からの潜水作業の場合、岸壁上に「潜水作業中」と標示した横断

幕を掲示すること。)

- ② 作業船には、海上衝突予防法に規定する操縦性能制限船の形象物を掲げます。
- ③ 作業船が作業区域に夜間停泊する際は停泊灯を点灯するほか、海域を直射しないようにして甲板等を間接照射し、他の航行船舶に注意を促します。
また、アンカーワイヤーの水深－〇〇mの位置には、灯浮標（〇〇〇製、〇型、灯色黄色、4秒1閃光、光達距離〇Km、灯高〇m）を設置します。
- ④ ケーソン撤去及び据付時は、海面下のケーソン上部に〇〇m間隔で標識灯（〇〇製、〇型、灯色黄色、4秒1閃光、光達距離〇Km 灯高〇m）を設置します。
- ⑤ 作業船のアンカーワイヤーの水深－〇mの位置にアンカーブイ（黄色、玉型）を設置します。

(2) 安全対策

- ① 作業の現場責任者を配置し、作業全般を監督し事故防止に務めます。
- ② 施工に当たっては、隣接する区域の工事・作業施工者と工程、土砂投入手順、運航経路等を調整するとともに、工事・作業に従事する作業員には、毎朝開催する朝礼において、本事故防止措置を徹底し、作業船に本事故防止措置の写し、作業マニュアル、作業船運航管理規程、社内の指示事項文書等を手渡して事故防止を徹底します。
また、工事・作業の内容、ケーソン曳航計画等については、地元漁業協同組合、マリナー、旅客船運航会社等の関係者へ事前に周知します。
- ③ 作業船の運航に当たっては、〇〇(株)〇〇〇〇が策定した「作業船運航管理規程」に従い運航管理を行います。
運航管理者 〇〇 〇〇（〇〇歳、経験年数〇〇年）
- ④ 作業中は、〇〇(株)〇〇〇〇が策定した「警戒船管理運用要領」に基づき、専従見張員〇名を乗船させ、「警戒船」と表示した警戒船〇隻を配備し、作業区域に接近する他の船舶に対しては、VHF無線、赤旗、拡声器等により注意を促します。
また、ケーソン吊り運搬作業時には、別途専従の警戒船〇隻を配備します。
- ⑤ 作業区域と隣接する〇〇岸壁は、大型船舶の入港があることから、施工期間中利用する〇〇海運(株)担当者と作業対応及び入出港船舶の調整等を行います。
なお、調整に係る作業船退避要領及び連絡責任者は別添のとおりです。
- ⑥ 撤去土砂の埋立地への投入に当たっては、発注者と協議し、埋立地施工管理者である〇〇(株)と調整のうえ、別添「土砂投入要領」に基づき土運船を運航して行います。
- ⑦ 施工に伴って発生する廃棄物及び油類等が海面に落下し流出しないよう瀬取り作業中は脱落防止シートを展張するほか、現場事務所にオイルフェンス〇〇m、油吸着材〇〇kg、油処理剤〇〇ℓを備え置きます。

- ⑧ 作業に当たっては、気象状況に留意し、気象警報又は次の何れかの基準に達する場合には作業を中止し、作業船を〇〇海域へ退避させます。

作業中止基準

一般作業の場合

風速 〇m/s 以上

波高 〇m以上

視界 〇km以下

潜水作業の場合

風速 〇m/s 以上

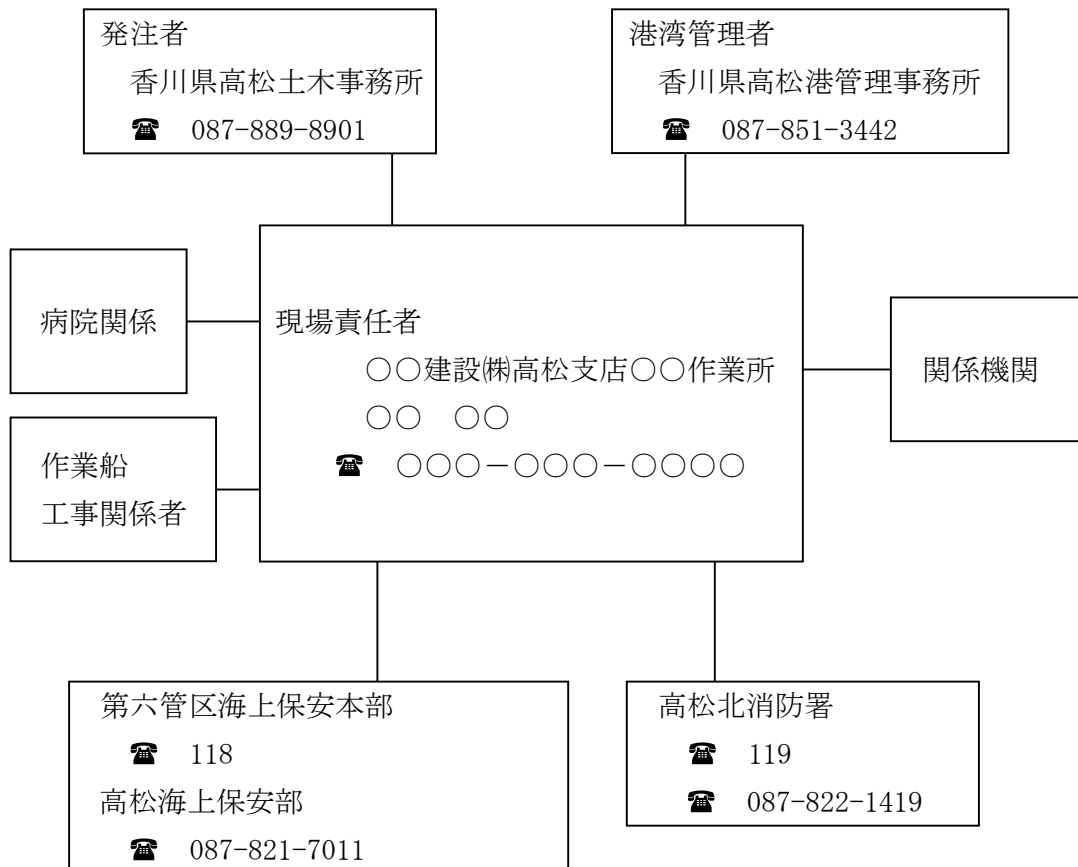
波高 〇m以上

視界 〇km以下

潮流 〇ノット 以上

- ⑨ 事故発生時等の緊急時は、応急措置を講じるとともに、別添「緊急連絡先系統図」により、速やかに高松海上保安部へ連絡し、指示を受けることとします。
- ⑩ 埋立地の埋立用材に流用する土砂については、土砂溶出検査を実施し、有害物質を含有していないことを確認しております。
- ⑪ 工事許可書は、現場に携行し、その許可内容を常に確認できるようにします。
- ⑫ 許可内容に変更が生じる場合には、事前に許可申請を行います。
また、工事完了次第、速やかに完了届を提出します。

7 緊急連絡系統



8 連絡先

〇〇建設(株)高松支店〇〇作業所

現場責任者 ○○ ○○

TEL ○○○-○○○-○○○○ (昼間)

TEL ○○○-○○○-○○○○ (夜間)

9 添付資料

- ① 工事位置図、作業区域図（注：使用船舶の配置状況により決定すること。）
- ② 作業状況図（注：作業船係留図、運搬経路図、施工区域図、施工平面図、施工断面図等記載文書と関連させ、複雑な場合は色分け等する。）
- ③ 標識設置図、標識管理要領、標識の仕様、土砂投入要領書、工程表、使用船舶一覧（又は「船舶検査証書・海技免状」の写し）
- ④ 警戒業務管理者・専従警戒要員等一覧
- ⑤ 警戒船講習（管理・業務）受講証明書の写し
- ⑥ 緊急連絡系統図
- ⑦ 施工体制等協力業者一覧
- ⑧ 土砂溶出検査結果等
- ① 契約書又は発注証明書の写し等